

第36回東海地区学校図書館研究大会

「人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ」

～ 子どもの学びをささえる学校図書館 ～

山口 武人

(第36回東海地区学校図書館研究大会実行委員会事務局長)

1. はじめに

第36回東海地区学校図書館研究大会（豊橋大会）を8月7日（水）・8日（木）に、愛知県豊橋市で開催した。1日目は穂の国とよはし芸術劇場（プラット）で開会式・全体会を行い、2日目は愛知大学を会場にして研究実践発表・講義等を行った。さらに、豊橋市立福岡小学校・豊橋市立南部中学校・愛知県立時習館高等学校・愛知大学の図書館を見学した。

本大会の趣旨は、学校図書館を利用・活用し、多様で変化の激しい現代社会を生き抜くための「学ぶ力」を身につけさせる場とした。また、学校図書館は、「読書センター」として豊かな情操を育む機能だけでなく、「学習・情報センター」として情報収集・選択・活用能力を育成し学び方を学ぶ機能など、学校教育において大きな役割を果たすことが期待されている。本研究大会を、学校図書館に関わる職員に限らず、図書館を支える様々な方々が集い、研究・実践を報告し合い、ワークショップでスキルを磨く場にしたいと考えた。

2. 大会の概要

1日目は、午後から穂の国とよはし芸術劇場（プラット）において、開会式を行なった。

柴田悦己大会会長の主催者挨拶に続き、豊橋市教育委員会教育長の加藤正俊氏、愛知大学学長の佐藤元彦氏から祝辞をいただいた。

開会式に引き続き、全国学校図書館協議会理事（青山学院女子短期大学教授）の堀川照代氏から、「学校図書館の現状と課題」について報告がなされた。堀川氏は「学校図書館の現状」「学校図書館を巡る新たな状況」「学校

図書館の課題と展望」の三つを柱とし、具体的な事例を挙げながら説明を進められた。学校図書館専門職員の配置、各教科の学校図書館の活用、さらに学校図書館機能の高度化など目指すべき姿を明確にいただいた。

続いて、京都女子大学教授の井上一郎氏をお迎えして記念講演を行なった。「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」という演題で、読解力とは何か、学校図書館はどうあるべきかなど具体的な例を挙げ分かりやすく話された。独特の語り口調で、ユーモアを交え、力強い説得力のある講演に、元気をもらおうと同時にいろいろ考えさせられた。また、ことばの大切さを学ぶ機会でもあった。

2日目は、愛知大学豊橋キャンパスで分科会として、研究実践発表、司書教諭向けのワークショップ、大学教授等による講義、さらに、近隣の学校図書館見学等を行った。

今回の分科会は、全国大会に倣い、助言者を設けず、司会者が助言・まとめを行うことにした。また、従来の「読書センター」「学習情報センター」の枠を取り除き、発表テーマ



写真1：井上一郎氏による記念講演



写真 2：研究実践発表のようす

で分けた。アンケート結果は、賛否両論であったが、助言者をなくしたことは、大会運営にとっては簡便になり、枠を取り除いたことで提案者は、発表しやすくなったと考える。さらに、分科会提案者の発表リハーサルを1日目の午前中に行った。65%の提案者が参加し、コンピュータ・プロジェクトを確認することができた。以下、各分科会の研究主題・講義内容を紹介する。

【小学校部会】

「一人一人の良さに気づき、違いを認め合うことができる児童の育成」「言語活動の充実を図る学校図書館の活用」「読書環境の整備と心の教育」「情報活用能力の育成を目指して」「思いやりの心を育てる読書指導」「本に親しむ生活を育むために」「物語のおもしろさを味わい進んで読書する子ども」「読書を楽しみ、自ら学ぶ意欲をもてる子どもの育成」「子どもを本に近づける取組」「読書に親しめる児童の育成」「情報活用能力を身につけ、学校図書館が大好きな子どもを育てる」「進んで追求し、自分の言葉で表現する子の育成」「児童が喜んで本に親しめることを目指す」「児童生徒の読書の質を高めるために」

【中学校部会】

「中学校における読書活動の活性化」「学校図書館と生徒を近づけるために」「読書習慣の確立や図書館利用の活性化を目指す学校図書館づくり」「学校図書館の活性化」「読解力と情報活用力を育成する図書館経営のあり方」「豊かな心と学ぶ意欲を育てる学校図書館」「地域との連携をめざした図書館経営」

【高等学校部会】

「図書館蘇生の歩み」「図書館活性化への取組」



写真 3：ワークショップ(講師：塩谷京子氏)

「普通科高校における図書館活動についての報告」「せめて新聞くらいは読める大人になろうよ」「三重県図書館物流ネットワークの拡充について」

【特別支援学校部会】

「対応力を高める読書指導」「特別支援学校図書館の経営と読書指導」「盲学校に赴任して」「魅力ある図書館にむけて」

【ワークショップ】

「情報活用スキルの育成」(関西大学初等部：塩谷京子氏)「使える図書館の作り方」(眉山女学園大学司書：天野由貴氏)「教科書から広がる読み聞かせ、実践！ブックトーク等」(岡崎日本子どもの本研究会：霜田美津子氏、豊橋学校図書館司書：鈴木美希氏、竹内美幸氏)

【講義】

「メディアを活かした古典講座」(愛知大学教授：和田明美氏)、「読むことの動機と読書指導」(愛知教育大学助教：砂川誠司氏)、「地図帳の効果的な活用」(帝国書院広報室：新井洋行氏)、「小中学校図書館支援」(豊橋市授業・学習支援センター：阿部まゆみ氏)

3. おわりに

人との出会いを大切にし、おもてなしの心を持って大会を運営するよう心掛けてきた。お陰をもって650名の方が参加され、図書館教育の大切さを感じていただけたと思う。

本大会の開催にあたり、ご協力・ご支援をいただいた方に心より感謝し、お礼を申し上げたい。(やまぐち・たけひと＝愛知県立新城東高等学校教諭)

